

議会だより



「笠懸」の武技と「流鏑馬」(笠懸町)

源頼朝が、新田義重の館に立ち寄った時、従者の笠が風に飛ばされころがるのを見て笠を射るように命じた。これが「笠懸」の武技の名の起りと伝えられている。以後新田北部の原野は「笠懸野」と呼ばれるようになった。

鎌倉時代以降「笠懸」の武技が行われた記録はなかったが、平成元年、笠懸村制施行 100 年記念に、弓馬術礼法小笠原教場宗家一門の協力により 800 年ぶりに再現された。現在は、上鹿田地区のひまわり畑で、笠懸保存会が小笠原教場の協力を得て「笠懸」と「流鏑馬」を行っている。

第 3 回定例会(12 月)主な内容

一般審議・補正予算・主な質疑・請願	2～3
所管事務調査報告	4～5
議員報酬と定数審議	6
一般質問	7～17
まちの声	18

平成18年度第3回定例会

補正予算はじめ、 25議案を審議

みどり市議会第3回定例会は12月5日から18日までの会期で開かれました。市長から提出された議案は市議会議員の報酬を改正する条例をはじめ、補正予算など25件で、慎重に審議した結果、全議案を原案どおり可決しました。また議員発議による議員定数条例、非核平和都市に関する決議、議員辞職勧告決議案が審議されました。

一般質問は22名が質問に立ち執行部をただしました。

平成18年度 一般会計補正予算 予算総額165億7,739万円に

一般会計の補正予算は、歳入、歳出ともに1億983万円を追加し、予算総額を165億7,739万円としました。

〔主な歳入補正〕

国庫支出金
1、931万円の増
(保育所運営費、汚水処理施設整備交付金等)
諸収入

1億1,434万円の増
(県道拡幅工事補償費、競艇事業関係収入の組み替え等)

(学童保育事業、旧東中央保育園解体工事等)
土木費
1、847万円の増
(県道拡幅工事等)

〔主な歳出補正〕

総務費
3、520万円の増
(大間々庁舎改修工事、旧泉小学校体育館取り壊し等)
民生費
7、296万円の増

教育費
1、080万円の増
(人事異動による人件費等)

一般会計・ 補正予算の質疑

問 富弘美術館観覧料の352万円の減額理由は。
答 11月末までの入館者が、前年比75%と減少した。19年度より一般会計から分離して解りやすくしたい。

問 市有財産管理事業の4、400万円の、泉小学校解体はどこまでするのか。
答 解体は体育館のみ、遊具の撤去と管理費の合計1、540万円で残り2、860万円は執行残とする。

問 来年度から学童保育の対象を現行の小学3年生から4年生に引き上げるための準備事業は。
答 笠懸町の親老児童館分室150㎡スペースを広げる。笠懸東小学学童クラブ53㎡増築。大間々東小、北小の学童クラブで、プレハブ施設のリースを考えている。

問 大間々町高津戸線の拡幅改良工事の内容は。
答 県の委託事業で用地取得の増などにより、総額1、847万円の増額。

問 まちづくり交付金事業の岩宿駅周辺地区整備が用地取得を先行するため、合併特例

債を200万円増額するところがあるが、全体でいくらに。
答 第2工区から第3工区事業は19年度査定の中で、合併特例債を検討する。

非核平和都市宣言 に関する決議

議会議案として提出され、全会一致で採択されました。

決議文

真の恒久平和は、人類共通の念願である。

しかるに、核・軍備の拡張は依然として強まり、世界平和、人類の生存に深刻な脅威をもたらしている。

我々は世界最初の核被爆国民として、核の恐ろしさ、被爆者の今なお続く苦しみをかみしめ、この地球上に再び広島、長崎のあの惨禍を繰り返させてはならない。

ここに我々は、日本国憲法に掲げられた恒久平和の理念を日常の市民生活に生かし、子々孫々継承するために、非核、平和都市たることを厳粛に宣言する。

一般会計	補正額	1億983万8千円
	補正後の予算額	165億7739万5千円
鉄道経営対策事業特別会計	補正額	0円
	補正後の予算額	1億3018万3千円
国民健康保険(事業勘定)特別会計	補正額	0円
	補正後の予算額	50億1179万7千円
国民健康保険(診療所勘定)特別会計	補正額	0円
	補正後の予算額	1億7211万9千円
老人保健特別会計	補正額	0円
	補正後の予算額	44億8436万5千円
介護保険(保険事業勘定)特別会計	補正額	420万円
	補正後の予算額	26億2448万円
介護保険(介護サービス勘定)特別会計	補正額	0円
	補正後の予算額	1660万4千円
簡易水道事業特別会計	補正額	0円
	補正後の予算額	6350万7千円
農業集落排水事業特別会計	補正額	0円
	補正後の予算額	8283万3千円
下水道事業特別会計	補正額	942万6千円
	補正後の予算額	10億8778万7千円
競艇事業特別会計	補正額	50億4000万円
	補正後の予算額	713億1297万2千円
農業共済事業特別会計	補正額	0円
	補正後の予算額	3億729万2千円

一般議案

- みどり市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
可決 賛成多数
- みどり市報酬費用弁償条例の一部を改正する条例
可決 賛成多数
- みどり市温泉スタンド条例の一部を改正する条例
可決 全員賛成
- みどり市簡易水道事業特別会計条例を廃止する条例
可決 全員賛成
- 群馬県後期高齢者医療広域連合の設立
可決 全員賛成
- みどり市議会議員定数条例の制定について
否決 賛成少数
- 非核平和都市宣言に関する決議案
可決 全員賛成
- 田部井多市議員に対する辞職勧告決議案
可決 賛成多数
- 黒田武夫議員に対する辞職勧告決議案
可決 賛成多数
- 上岡克己議員に対する辞職勧告決議案
否決 賛成少数

請願

- 廃止路線の取り消しを求める請願
経済建設常任委員会に付託
↓不採択
- 全額国庫負担の「最低保障年金制度」創設を政府に求める請願
民生福祉常任委員会に付託
- ↓継続審査
旧泉小学校校舎の利活用に関する請願 2件
- 教育基本法「改正」法案の廃案を求める意見書の採択と教育基本法の理念を学校と社会に生かすことを求める請願
総務文教常任委員会に付託
↓3件とも継続審査

総務大臣より 感謝状贈呈

深澤富四郎議員は、「地方議会議員として35年以上存職し、地方自治の発展に顕著な功労があった」と認められて、総務大臣より感謝状の贈呈を受けました。



第3回(12月) 定例会の日程

- 5日 本会議
 - 請願の委員会付託
 - 一般質問 7名
- 6日 本会議
 - 一般質問 9名
- 7日 本会議
 - 一般質問 6名
- 8日 本会議
 - 市長提出議案上程 質疑・採決
- 12日 経済建設常任委員会
- 13日 民生福祉常任委員会
- 14日 総務文教常任委員会
- 18日 本会議
 - 市長提出議案上程
 - 補正予算、質疑・採決
 - 全員協議会
 - 常任委員長報告
 - 議員定数条例の制定
 - その他

総務文教常任委員会

亀山市 企業進出で税収増

住之江競艇場 業界最大の売上げ

調査年月日

平成18年10月4～6日

調査視察地

- (1)三重県亀山市亀山・関ヶ原ノヒルズ産業団地
- (2)大阪市住之江競艇場

調査目的

亀山市は、昨年1月11日に

旧亀山市と旧関町の1市1町

で合併した人口4万9、00

0人の市である。産業団地は

公設工業団地ではなく、民間

開発会社住友商事により造成

され、面積は148haで代表

的な企業ではシャープ(株)があ

り、世界最大の液晶パネ

ル工場が置かれている。

この産業団地への企業進

出による効果として、人

口伸び率は平成12年と平

成17年を比較して、県内

トップの5・68%増で、

この内、15歳以上65歳未

満の生産年齢人口が殆ど

である。有効求人倍率は

全国トップクラスで、市

税の歳入総額推移は、平

成14年度73億8、600

万円、平成17年度は10

4億7、900万円とな

り、主に市民税、固定資

産税、都市計画税などの

増加により、地方交付税の不交付団体へと成長を遂げた。

(2)大阪市住之江競艇場

競艇界のメッカといわれ業界最大の売上を誇り、公営競技場の中でも大井競馬場に次ぐ売上げ(一日平均)を記録している。

施行者及び開催日数は大阪府都市競艇組合(16市で構成)102日、箕面市78日合計180日開催で、平成17年度総売上は1、025億5、300万円、SGレース開催は毎年行われ、平成17年度のナイター開催は7月～8月で27日間、18年度は7月～10月で43日間となっている。施設所有者は住之江興業(株)で、施設借上料はSG売上を含め総売上の4・5%のみとなっている。駐車場は施設会社が直接経営で、無料70台・有料1、459台収容の規模を有している。また、売上は徐々に減少しているが、施行者・施設会社双方が一定の利益を得て運営されている。

みどり市は今後さらに他の競艇場の運営を研究し、売上げ向上に取り組むことが望まれる。



東川幼児センター見学の様子

民生福祉常任委員会

東川町

小樽市

幼稚園と保育園の垣根をはずす

点字図書館は全国に貸し出し

調査年月日

平成18年10月1日～3日

調査視察地

- (1)北海道東川町幼児センター
- (2)北海道小樽市総合福祉センター

調査目的

調査目的

(1)幼保一元化の経過と事業内容について

平成15年4月から試行的に

幼保一元化を実施している。

実施内容は幼稚園と保育園

の垣根をはずし、分け隔ての

ない公平・平等な保育をめざ

しています。また子育て

支援センターを併設して

幼稚園と保育園の機能を

生かしながら、関係機関

と連携をはかり子育て支

援にも積極的に取り組ん

でいる。3歳以上の統一

したカリキュラムと合同

保育により、様々な保育

サービスを提供できるよ

うになった反面、サービ

スに対応するための経常

経費の増を余儀なくされ、

また職員の勤務体制も複

雑となった。集団による

保育、教育の利点は、充

分に生かされている反面、

小規模による利点が失われているのは否めない。

(2)総合福祉センターの運営と事業内容について

当センターは高齢者・児童・母子家庭の母・寡婦・身体障害者の方々の相談・教養・レクリエーション及び集会等の場所を提供している。特に点字図書館は注目すべき事業です。図書の出しは全国の視覚障害者を対象に実施されている。この図書館では点訳や朗読、その校正、編集のボランティアを養成すべく、年約20回の講座を計画実施している。施設を見学したが、平日の午前中にもかかわらず多くの人が利用していて活気にあふれていた。ただ施設の老朽化が進んでおり、これからの維持管理が大変なようであった。

経済建設常任委員会

若松競艇 平成16年からナイター開催 芦北町とみどり市 富弘美術館で連携を

調査年月日

平成18年10月10日～11日

調査及び目的

(1)北九州市若松競艇場

競艇事業について

(2)熊本県芦北町

富弘美術館運営について

(1)競艇運営について

視察対応 若松競艇場

事務所長 上野孝司氏

施設等は、市の所有で市が管理している。

平成16年度からナイターを
開催。

SGを今後は、要望していく

(今まで黒字のため必要を

感じなかった)

入場料1000円を8

レース以降は無料、

ロイヤルルームも8

レース以降は3,000

円を1,500円に

値引きしている。

(会社員が入場し易いよう)

職員体制は20人、従業員

員300人、人件費は

約9億円

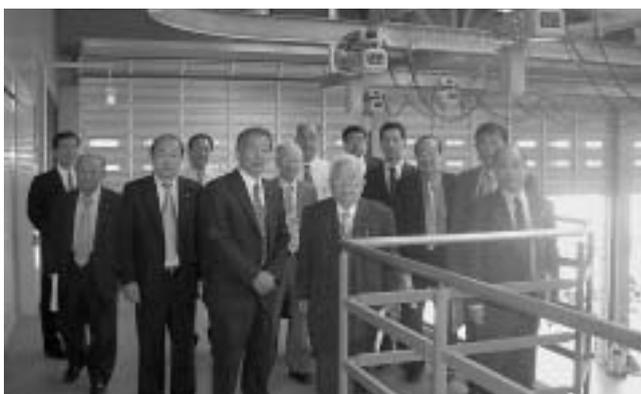
今後は、スクリーン改

修に10億円見込んでい

る。

以上のような説明を受け、

今後はみどり市について



若松競艇見学の様子



芦北町、富弘美術館見学の様子

も入場料について、見直すとともに、入場者を確保するための対策を早急に、市職員と、関東開発の社員でチームを作り、検討していく必要があると考えます。

(2)富弘美術館運営について

視察対応

熊本県芦北町立富弘美術館

館長、芦北町助役、議長、文教委員長他

本年5月に開館しエッセイを抜粋して展示。

来館者の分析の結果、10代が増加している。(近県の

小中学校、県と連携しているため)

県の美術館として運営出来るよう、また、夢と感動を与えられる心の癒しの場、教育的な施設とすることが目標である。

リピーターの確保を図るべく工夫を考えて行く。

以上のような説明を受け、今後はみどり市の富弘美術館と芦北町の富弘美術館で連携を密にしながら、お互いをPRし、相乗効果を高める必要があると考えます。

議員報酬と定数審議 月額36万円・定数22名に決定

みどり市特別職報酬審議会の答申により、議員報酬を月額39万円とする条例改正案が12月7日に市長より提出されました。

これに対し報酬を月額35万円に減額する修正案が提出されましたが、賛成少数で否決され、月額39万円とする市長提案が可決されました。

また、合併協議会で議員定数22名と決められていたものに対し、連合区長会から定数削減（18名）を求める意見書が提出されているため、12月18日に定数を1名削減し、21名とする議員提案が出されましたが、賛成少数で否決されました。その後12月25日に開かれた臨時議会で、議員報酬削減と定数削減についての議員提案が出され審議した結果、議員報酬は市長提案で可決していた39万円を下まわる36万円とし、定数は22名とすることが決定しました。

12月定例会での 審議内容

みどり市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

「概要」報酬審議会の答申により議員報酬を月額39万円に定めるもの。

前条例に対する修正案

「概要」議員報酬月額39万円を財政に寄与するために35万円に減額するもの。

問 報酬審議会でのように審議されて39万円の月額が決

修正案に対する討論

反対 審議会の立場を尊重しなければならぬ。一度はそれを通すことが民主主義のルールだ。その後には議員の思いを集約して新たに提出するべきだと考える。

賛成 審議会で議員の重さが認められたことは重く受けとめるが、現在のみどり市の財政状況等を考えた時、できるかぎり財政に対して寄与するものだ。議員としての良識での判断と考える。

反対 審議会の案が出されたものを即、修正ではなく重みを持って一度は通過させてほしい。議員提案でどういう数値にするのが良いかというものも一つの方法だ。

賛成 市民にわかりやすくするために、出された数字に対して、どうとらえるかという意思表示するべきだ。同規模自治体の中で突出した形での39万円という設定はいかがなるものか。22名の定数はみどり市の現況で見ると決して多い数字ではないと考える。

反対 わかりやすいというならば、報酬審議会で示された数字を真摯に受け止め、定数とセットになるが、報酬は上げるが定数は削減せよとのこ

となので、答申を一度は受入れて、その後議員定数の問題を議論すべきと考える。

賛成 議案として提出されたものは、この場できちんと解決して行きべきと考える。

修正案は賛成少数（14名）
原案は賛成多数（23名）で可決。

みどり市議会議員定数条例の制定

「概要」連合区長会より定数削減（18名）が提出されているため、議会運営委員会の協議で定数22名を1名削減して21名にすべきとするもの。

定数条例に対する討論

反対 議員報酬の審議で、最高額の39万円を決めている。区長会は財政に寄与するために、定数を18名とすべきとの意見書を出している。市民の付託に答え、民意を反映させるために、報酬は、最高額でなくとも仕事はできる。区長

会では4名削減との提案なのに、1名の削減で決着しようとの内容だ。市財政の中で報酬39万円を削減する方向を取るべきと考える。

賛成 定数削減が実行されるのは、4年に一度の選挙だ。この機会を逃すと、また4年

後しなくなる。今回区長会の意見や報酬審議会の付帯決議を真摯に受け止めなければならぬと考える。

反対 定数削減なら4名とすべきなのに、1名の削減案である。報酬39万円を可決しておきながら、削減についての議論がまだ足りない。もう少し時間をかけて議論すべきと考える。

審議結果
賛成少数（17名）で否決

第3回臨時会議案

みどり市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

「概要」第3回定例会で決定した議員報酬39万円を36万円に減額するもの

審議結果

賛成多数（26名）で可決

みどり市議会議員定数条例「概要」議員定数22名を1名減じ21名とするもの

審議結果
賛成少数（17名）で否決

工事請負契約の締結
「概要」公共下水道事業・大問々中部第2雨水幹線工事、（13億200万円）の工事請負契約の締結を行うもの

審議結果
賛成全員で可決

集団登下校（笠懸小学校）



Q 小中学校のいじめ問題の実態は

A 事件・事故に結び付くような報告は受けていない

古美門 君夫 議員



問 「学校教育児童生徒の安全対策」についての取り組みと進捗状況について。

市長 思った以上に進んでいる。ポリスポックスについては来年度からモデル校を一校つくり、校門前のポックスに警察官OBや警備会社の人に入ってもらい地域や児童の安全を図る取り組みを具体化した。

教育問題は日々変化している。時代のニーズに合った取り組みも必要だが、特に児童の安全対策については、みどり市としては先に、何かが起こる前に手を打って行きたい。

教育長 児童が下校時に命を奪われる最悪の事件が続いているので、安全管理を徹底し

地域で子供を守るといふ機運が高まっている。不審者の侵入を防ぐため市内の全小中学校に防犯カメラを設置、下校時には地域の人々の協力による辻立ちやPTAによるパトロール等地域に応じて安全対策

策を実施している。また保護者の携帯に一斉にメール配信できるシステムを全ての学校に整備し、いち早く不審者の情報を流している。

問 いじめの実態について県の緊急調査が実施されたが、みどり市の現状は。

教育長 いじめと認識した件数は小学校が26件、中学校が66件。うち指導の結果、解消したのは小学校15件、中学校39件、継続しているのは38件。今のところ事件事故に結び付くような深刻な状況の報告は受けていない。

Q 旧高津戸ゴミ焼却場跡地と周辺整備については

A 今後の計画に反映させたい

黒田 武夫 議員



問 旧大間々高津戸ゴミ焼却場跡地と隔離病棟の跡地、合計で約5、300坪の土地があり、みどり市にとって貴重な財産が今日までに何十年と荒れ放題でゴミ捨て場になっているがその対策は。

市長 第三次総合計画に盛り込まれた。この地区は自然に恵まれた魅力ある場所、平成18年度急勾配のアクセス道

路を整備した。今後この土地の計画が出来上がるまでには年二回、三回雑草などの駆除を行いたい。

遊歩道の延長と公園作り

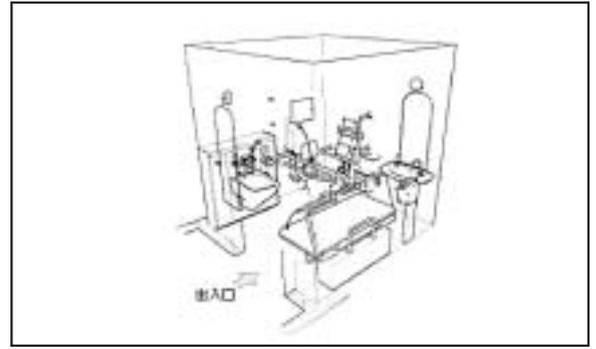
問 市民意識調査の結果概要の中で「行政施策の不満足」では第二位が公園、緑地や遊び場の整備が44・8%と多く「行政施策の重要性」では五番目に62・1%であった。観光客の増員と将来の町作りの

欠かせない地域であり、早急

高津戸ゴミ焼却場跡地



一般質問は、発言者の責任の基に質問の要旨を掲載しています。



Q 政治倫理条例の制定を目指すべき

A 「政治は最高の道徳」と考えている

金谷 正男 議員



問 政治の腐敗不正が後を絶たない。地方政治を蝕む行為を正すための政治倫理条例を制定すべきと考えている。一般職の職員が起訴、有罪となった場合の処分は。

総務部長 起訴なら停職、有罪確定で免職となる。

問 一般職員より、高い政治倫理責任を負う首長等、議員が有罪確定後も、その職にと

どまりつづけることは許されるべきでない。公職者に自発的な辞職を促す条例を制定すべきだ。確固とした問責制度を規定し、事由も職務関連犯罪に限らず、一個人、一私人としての刑事犯罪一般に広げるべきで、政治倫理基準を明確なものとする必要がある。

住民、市民を欺いた議員がその職に留まり続けることは、市民に理解されない。

市長 「政治とは最高の倫理である」という言葉を信じている。

問 臓器に機能障害を負い、

腹部に人工肛門や人工膀胱の排泄口（ストーマ）を造設した人たちが安心して、汚物を流し捨てられ、腹部を洗浄できるオストメイト対応のトイレを市内に設置するようにしてもらいたい。

観光部長 現在、市内にはないが、県の補助を受け、わたしの神戸駅に設置することとし12月補正に予算計上した。今後は、地域バランスを考慮して設置をしていきたい。

Q 職員モラルの向上を

A 信頼される市を目指す

荻野 忠 議員



問 各行政区の活動補助金は、かなり見直すべき点があると思うが。

総務部長 東町行政区にはなかったが、19年度では、1、733万円補助し、3年かけて統一した基準にしていく。

問 マンモス校と複式学級小学校がある。子供たちにベストな教育環境を与えるために、笠懸南小、西小学校の建設、

また、大間々町北部3校の在り方についても、早期に実施計画に入るべきでは。

教育長 19年度に仮称、学校規模適正化検討委員会を設置したい。

問 わたらせ渓谷鐵道経営の補助金だが、国、県、沿線市の補助額を明確にすべき。会社側にも経営目標が生まれるのでは。

市長 9、000万円を圧縮した中で、5等分または自治体の力や歴史にあつた負担額でいいのではと思っている。

問 全国で公務員等の汚職や

談合事件など多発している。モラルの向上とリーダー育成のための研修、また、官民の人事交流も必要では。

総務部長 県民局や県の地方課にも派遣し職員の相互交流を考えている。

大間々庁舎の様子





椎名 祐司 議員

Q 市民の意見集約は
A 総合計画審議会を立ち上げていく

問 市民の意見や考えを聞くためタウンミーティングが五回開催されたが、来場者の人数は。また、今後の意見集約をどう図るのか。
経済部長 11月16日から24日までの5日間、中学校区で行い合計81名が参加した。今後、総合計画策定のためのタウンミーティングは考えていないが、市のホームページに総合

計画コーナーを作りその中でフリーに意見募集を行いたい。
問 市民意識調査の結果概要は、タウンミーティングに参加した人しか、その内容が分からない。今後、結果概要の報告会は実施していくのか。
経済部長 結果概要は自由意見が抜けていて、まだ途中経過であり、最終報告版はホームページ等で公開していく。
問 総合計画策定の予算として370万円がコンサルタント会社に委託されている。丸投げにしないよう願っているが、来年度もこの会社に策定

委託料がかかるのか。
経済部長 19年度は基本構想に入るため、当初予算の委託料607万を考えている。
問 総合計画策定にあたり、市民参画として市民委員の公募や職員の意見集約は。
経済部長 市民の意見公募としてパブリックコメント（意見集約）を計画し、構想に基づき総合計画審議会を立ち上げていく。又、職員間のグループ討論やアンケート調査を行い、職員の公募は常時受け付けていく。



大間々保健センターでのタウンミーティング

一般質問は、発言者の責任の基に質問の要旨を掲載しています。



笠懸町のゴミ収集

Q ごみ袋記名は続けるか
A 分別のすすみ具合で見直しを

原田 好雄 議員

問 10月からごみ袋に記名を義務づけたが、住民に波紋を呼んでいる。これまでに不都合なことがあったのか。
民生部長 笠懸町はアパートが多く、分別をしないで出す人が相当あった。記名によって分別されてきた。
問 ごみの問題は、市民の自主的なマナーに訴える以外策はない。今回の記名義務付け

は、わずらわしさと同時に行政から管理されている印象を与える。このままずっと続けるのか。
民生部長 マナーが向上すれば、分別の進み具合を検討しながら見直すべきと考える。
問 路線バスで特に笠懸町の路線について19年度はどうなるのか。
総務部長 大間々町の路線の延長で笠懸にバスを乗り入れしているが、乗車率、経済効果は非常に厳しい数字。前橋市が試行しているデマンドバスを笠懸町に導入できないか

を検討しているが、地形上巡回するのが有効かどうか難しいものがある。来年は現状で問 いま1年続けるのか。業務委託契約はどうなっている。
総務部長 契約は大間々町と一緒にしている。
市長 満杯に出くわしたことは一度もない。費用対効果、地理的状況もある。合併協の中で何でこういうことになったのか、感覚的には議員の言う事に近いものがある。
原田 財政改革、歳出削減に真剣に取り組んでいる折、税金のたれ流し、緊急対策を。



Q 教育基本法改正が問われているが

A 注意深く見つめていきたい

近藤 仁一 議員



問 教育基本法改正が問われているが、どう考えているか
市長 私としては、道徳モラルを明文化するのが本当に良いのか。もう少し注意深く、それを見つめて行きたい。混乱している世情、この市として何ができるか真剣に考えたい。この問題一つ取り上げても縦割の善悪、文科省と教育委員会との関係、自由裁量

権があるといわれながら、容易でない現況、私の主眼としては、地域の歴史や文化を子ども達に学んで欲しい。誇りの持てる子ども達を創りたい。
問 イジメについてはどうか
教育長に聴きたい。
教育長 「イジメられる」「イジめる」いかなる行為でも「イジめる」側が悪いし許されない。その要因を作らないためには、その環境を作らない。その行為は卑劣だと教えること、人を傷つけたり、金を奪つのは犯罪だということを、学校で教えることが大

切だ。また、子どもが家庭での愛情不足、規範意識の欠如、我慢することが苦手なのが、根底にある。学校、家庭、社会においても「イジメ」はしてはいけない行為だと教えて行くことが大切だ。

○その他の質問
小学校の大規模校と小規模校について

Q 寅久保バイパスの現状は

A 現在ストップ状態となっている

前原 良一 議員



問 寅久保バイパスの現状はどのようになっているのか。今後どのように考えているのか。

都市建設部長 今現在ストップ状態となっている。あと一件交渉が難航している。なかなか進まないで困っている。1日でも早く理解をして頂き進めたい。県もこのままでは手を引くと言っており、困っ

ている。

問 大間々八木原線の県道に上水道管が入っていないが、今後どのように考えているのか。
水道局長 以前は、県道沿いに家も少なかったので入っていなかったが、今後は必要に応じた対応していきたい。

問 塩原、浅原、神梅の平屋の市営住宅の老朽化の進みが目立っているがどう考えているのか。また、跡地はどうするののか。

都市建設部長 古い物から壊していき、土地についてはまだ考えていない。

問 農業集落排水の見直し再検討になっているが、今どうなっているのか。
都市建設部長 地域説明会を開いて理解を求めている。

問 この事業は百年の計をもつてやるべきではないのか。
市長 費用対効果ばかり言いつもりはないが財政の厳しい中、見直しを考えざるをえない。

神梅の市営住宅（大間々町）





大澤 賢一 議員

Q 経常収支比率が非常に高いが
A 人件費他、経常経費の圧縮で

問 財政課より出された決算カードの財政指標指数を見ると、特に経常収支比率が非常に高く、新たな事業が、できなくなる恐れがでてきたが、今後の改善策は。

市長 人件費他、すべての経常経費の圧縮に努めたい。

問 基金の取り崩しの予算編成は、あまり好ましくないが、総務部長 適性な基金の取り

崩しをし、将来を見据えた基金の運用をしていく。

問 歳入確保の中での受益者負担の取り組みはどうか。

市長 受益者負担の適性化が大事であり、税に例えれば、現在12億円もの滞納があり税収の強化をしていく。

問 社会体育館の総事業費は、総務部長 総事業費は27億円位で、他に関係する整備費11億円位を予定している。

問 財源構造については、総務部長 国庫補助金、合併特例債、一般財源を充てる。

問 ランニングコストと後年

度負担は。

教育部長 まだ、試算ができない状況だが2、000万、3、000万円位はかかると思う。

総務部長 総事業費の95%が起債対象になり、元利償還金の70%が基準財政需要額に算入されるので使っていきたい。

問 国道50号バイパスとアクセス道路の都市計画決定が遅れているがどうなっているのか。

市長 環境アクセスの関係で遅れているが、早ければ年内にも決定の解答があると思う。



50号バイパス（笠懸町）



東町の水源白倉沢

Q 白倉浄水場建設計画は
A 平成31年を目標に

腰塚 正 議員

問 老朽化に伴う東町の白倉浄水場建設計画の内容について

水道局長 平成31年を目標年次とし、花輪、神戸地区の人口2、425人に1日最大1、316m³を供給する。総事業費5億3、576万円で20年度完成予定だ。源水地、膜濾過装置、浄水池兼配水池の築造、将来は座間地区の給水も

視野に入れて進めている。

問 山林の荒廃、野生動物増加による、水質の汚れが進んでいるが。

市長 水源地を抱えるみどり市にとつて重要な問題と考え、山を守る政策を考えて行く。

問 農業者のなについて育成対策、国は一定規模以上の認定農業者に限り経営安定対策が検討されているが。

経済部長 市の認定農業者は178名いるが、品目横断的経営安定策の対象者は4名しかない。

問 対象外のないで育成対

策が重要と考えるが。

経済部長 野菜の生産農家が多く、高齢化も進み地域の特性に合った経営及び技術指導を、みどり農協と連携し安定経営に結び付けたい。

問 いじめや自殺の問題解決策に励まされ命の大切さを知る親子がいるが。

経済部長 道徳教育授業の教材として取り上げる学校が増えて、みどり市の小学校3校中学校1校が訪問、適切な内容が有り推進する。

一般質問は、発言者の責任の基に質問の要旨を掲載しています。



Q 再々修正案は出たのか

A 十分検討した内容を期待している

根岸 哲男 議員



問 わたらせ渓谷鐵道に対して、沿線自治体が求めた再々修正案は提出がなされたか。
総務部長 期日は来ているが、営業成績の良い錦川鐵道を参考に、視察を行い、再生計画を作成している。十分検討した内容を期待している。
問 市民協議会の位置づけ、役割は。
総務部長 存続のため、地域

の方々の協力を期待している。
問 今後も沿線、市、県の協議が必要と思うが。
市長 引き続き努力を行う。県に地域の声を伝えていきたい。

Q 地デジ難視聴地域への対応策は

A 光ファイバーにして対応を検討

問 2011年7月に地上波デジタル放送が開始される。

みどり市の一部が難視聴地域になると予想されるが、今後の対応と対策は。
市長 この件は全国的な問題で、政策的にも優先課題としたい。みどり市内を光ファイバーの専用回線の架設を考慮している。又、無線による受信が可能ならば研究をしたい。財政的にも多額の予算が必要となるので国等の対応を考慮し、より良い方法、このみどり市に合った情報通信網の整備を検討していく。

Q 一年延長した放課後学童クラブの運営体制は

A 社会福祉協議会とも十分協議し万全の体制で

宮崎 武 議員



問 みどり市教育委員会としてのいじめの認識と、アンケートの結果について確認したい。

教育長 92件の報告を重く受け止め、アンケートの結果を十分配慮していきたい。

問 いじめ専門の緊急電話の設置を要望、様々な係が混在している、はつきりした窓口の設置を。

今後の子育て支援プランの中で、子育て専門の次世代特命部長的な、教育委員会、民生部の枠を超えた部局の設置が少子化対策の為に大事なので検討をお願いしたい。
放課後の学童クラブを1年延長することになったが、大事なのは子供を守る運営体制ではないか。
民生部長 運営は社会福祉協議会に任せるが経験者等十分配慮し事故のない運営体制を推進する。

問 不妊治療に対する助成制度を創設するにあたり、不妊

治療の専門医を周産期医療の施設等を紹介できる体制や大事な宝である子供を宿しているとの認識が出来るようにマタニティーバッジ、ステッカー等の用意もお願いしたい。
独居高齢者に配慮する緊急電話の設置基準の緩和、24時間相談電話の開設を要望する。合併により役所の窓口の対応の格差が目立つ。統一して対応できるようにマニュアルを作つて、同じスタンスで窓口対応をしていけないか。
総務部長 各課によって確かに様々な対応になっている。

早急にマニュアルを作成し統一したい。

親老児童館（笠懸町）





坂本 清 議員

Q 渡良瀬溪谷鉄道再生は
A これからいろいろ考えていきたい

問 合併という大きな仕組みによって、これまで関係の無かったわた溪の運営状況が重くのしかかってくる。全国で第3セクターは39社ほどある。どれも赤字経営に至っているようだが、そうした中でも5社ほどが黒字に成功している。わた溪も市民協議会が10月に結成されたようだが。

市長 再生協は桐生市在住の

問 佐羽さんを中心に活動中だ。いろいろなアイデアや知恵を持つている方で期待している。先日役員さんに市長室に来て頂き、お話を伺っている。基本的にはお任せしているが、必要があればいつでも話は聞きたい。

問 当然再生協としてはいろいろな角度から研究していると思うが、行政への支援も良いが、黒字経営を成功させているところもある。イルミネーションに合わせて何かを販売する考えは。

観光政策部長 観光政策部と

しては、沿線のいろいろな事業について支援しているが、これだと言うものが実は見当たらない。そういう意味では特効薬はない。良いアイデアでもあつたら参考にさせて頂きたいと思っている。

坂本 地域の名物や、サイクルトレインなどはどうか。わた溪を存続させるとなれば、そこで働く人たちの意見も大いに必要と思われる。



大間々駅



「あしの会」の読み聞かせ
(笠懸図書館)

Q 図書館電算システムの統合は
A 19年10月1日を目指し進めている

新井 巖雄 議員

問 笠懸、大間々図書館の電算システム統合はできるか。

教育部長 19年10月1日を目指して、調整を進めている。5年のリース契約で、年間約80万円ぐらいの予算となる。

問 利用者カードの統一は。

教育部長 システムの統一後は利用カードを統一するが、経費節減のためそれ以前のカードは、そのまま使えるよう

にしたい。笠懸、大間々どこでも利用でき、東の図書室でも貸し出しができる。

問 東図書館は古い本が多い。今後大間々、笠懸の本を活用できるのか。

教育部長 古い本は学校で活用できないが研究している。大間々、笠懸の本の活用も検討している。

問 市内の小中学校の図書蔵書数にかなりの差があるが理由は何か。今後どうするのが教育部長 古い本を大量に廃棄した所と、そうでない所との差と考える。今後は計画的

に図書を購入し、足りない所は図書館との連携をはかり、格差の是正に努力したい。

問 子供の図書活動を推進するために、本の読み聞かせが必要だ。ボランティア団体との連携はどうか。

教育部長 笠懸図書館では、「あしの会」が毎週木曜に行っている。学校では下校時の安全に配慮して現在は中止しているが今後検討したい。大間々図書館では、「わらべの会」が行っている。また、小中学校に出向いて朝の授業前の時間に読み聞かせを行っている。

一般質問は、発言者の責任の基に質問の要旨を掲載しています。



チャイルドシート

Q チャイルドシートの再利用は？ A リサイクル大いに結構

常見 詔子 議員



問 笠懸町では12年度から貸し出しているチャイルドシートは、どうなっているのか。
総務部長 11年12月に20台、12年3月に30台購入して始めたが、現在あるのは15年購入の乳児用30台、幼児用5台のうち各24台と4台。制度は終わったので桐生交通センターで活用している。
問 桐生交通センターでは、

みどり市民には貸し出してくれない。大間々町は。総務部長 大間々町の交通センターで貸している。

問 合併時に廃止しても、大間々町は貸し出している。桐生交通センターにある28台をみどり市民のために大間々町交通センターで貸してはどうか。
笠懸町は廃止で、大間々町は貸している。議会も市民も知らされていない。

総務部長 広報で知らせず、大変に迷惑をかけたと思う。
問 チャイルドシート貸し出しの考えは。

市長 サービスに格差があるのは良くない。レンタルの需要はどの位あるのか。地域の声を聞きたい。

問 家庭で眠っているものもある。幹旋や払い下げ等も含め、廃止時に充分検討すべきだったのでは。処分するの面倒だから、桐生交通センターに預けたまま。みどり市全体のことを考えれば、再利用することもできたはず。

市長 物を大切に、環境を大事にするリサイクルは、大いに結構だと思う。

Q 新設された広域調整室の目的は A 市の外交部にあたるもの

上岡 克己 議員



問 今回の機構改革で新設された広域調整室の設置の目的は。

市長 みどり市の外交部にあたるもので、市を取り巻く問題をスムーズに運ぶようにするために設置した。

問 室長には県派遣の樋口氏が任命されたが、どのような人なのか。
市長 キャリアで人柄も良く

熱心に取り組む人。イルミネーションの点灯式にも奥様と一緒に見えたり、早く地域を知ろうとする姿勢が見られる。
副市長 多様な活動を展開する人で、いろいろな分野で活躍してきたが、交通政策、群馬のブランドを考えたり、実績を残し、期待できる人物。

問 他の部、課との整合性については問題はないのか。

総務部長 各セクションには、担当が責任をもってやっています。調整室の役割は、道路をつくることにより、隣接とどう関わっていくのか、どう道

路を生かしていくのか、各部課と協調していくので問題ない。
問 現在どんな施策に取り組んでいるのか。

総務部長 10月にでき、3人のスタッフで、わた溪、広域市場など取り組んで、東地区の観光開発の基礎調査を研究している。

問 足尾町に産業廃棄物の中間処理施設の計画があると聞か。

総務部長 生活環境課を通じて桐生市や会社より情報を集めていく。

公害で荒れはてた足尾山地





高草木 良江 議員

Q 神梅グラウンドの照明設備は
A 19年度予算と命名権の募集で

問 分庁方式では効率が悪い。現庁舎を最大限に有効活用し、本庁舎を大間々町に移すことや本庁方式を考えるべきでは。市長 各庁舎で出来る組織にし、来年4月に向けて検討したい。機能が果たせて、住民サービスを低下せず機能が果たせるようにしたい。

総務部長 水道庁舎を効率的に使うことも含めて、いかに

機能が果たせるかを検討していきたい。

問 大間々の北部や東地区での生徒数の減少問題は、統廃合や若者の定住政策の実現等、早期に真剣に考えるべきでは。教育部長 学校を大切にしながら検討していきたい。

問 大間々南小学校区の生徒が中学校へ入学する際に、分散されてしまうが、新市の一体感の中で学校区の見直しも考えてほしい。

教育部長 今後、学校の規模の問題や適性化の中で検討したい。

問 旧大間々町議会に「神梅運動公園の機能アップを求める陳情書」が提出され、平成7年6月議会で採択。その後のネットの整備はされたものの、グラウンドの照明設備等、陳情書の意向に沿っていないが。

教育部長 平成19年度の予算で照明あるいは一部整備を進めていきたい。

市長 予算については、命名権も第1号として募集もしていきたいと考えている。



笠懸庁舎内



旧笠懸町体育祭(笠懸町)

Q 体育祭の再開は
A 意向を聞きながら検討

大澤 映男 議員



問 体育協会に何の相談もなく、体育祭が中止になった理由は。教育部長 地域ごとに異なる取り組みであったので、役員負担等を考慮した上で、合併協議会の中で中止を決めた。

問 地区役員や体育協会の協力が得られれば、規模を縮小することも含めて、開催を考えるのか。

教育部長 関係各位、団体の中で再開の要望があれば考えていきたい。

問 要望があれば開催するのか。教育部長 開催できるとは言えないが、意向を聞きながら検討していきたい。

体育館周辺の体育施設について

問 グラウンドゴルフ場は愛好者が自らの手で作り上げてきた場所。体育館建設によってどうなるのか。

体育館周辺の体育施設について

市長 体育館の設計者も決まり、周囲のスペースをどのように利用するかも計画に盛り込まれていく。個人の意見としては24ホールを確保したい。具体的にどこにということは今後の計画次第。設計は今年度末が目途、来年の秋頃までには移転整備を完了したい。

《その他の質問》
ゴミ袋の記名について

一般質問は、発言者の責任の基に質問の要旨を掲載しています。



Q 資源持ち去り条例制定を

A 前向きに検討したい

小内 信一 議員



問 分別資源ごみ回収について、なぜ桐生市のように古紙を新聞・ダンボール・雑誌に分別して回収しないのか、この事について差異はどの位あるか。

民生部長 合併後も旧3町村ごとの回収形態を継承している一方、育成会・PTA・婦人会などによる任意の資源ごみ回収を奨励している。笠懸

仮称笠懸南小の新設を

問 仮称、学校規模適正化検討委員会を新設との事、笠懸小学校区域は一戸建住宅や集合住宅の建設が順調に伸びている。鹿又は、久宮地域内に早急に新設校をお願いしたい。市長 旧笠懸町時代には千人を超えない予想と聴いている。やはり、適正規模を考え人口増の動向を見て、10年・20年を想定し、将来を見据え検討したい。

Q 地域経済循環型社会のみどり市を A 地元雇用もトータルで考える

古田島 和茂 議員



問 ファミリーオートキャンプ場沢入の指定管理者の委託方法については。

観光政策部長 現在予算査定中である。予算が整えば、沢入地区と協議する。19年度より完全委託したい。

問 3カ月程度で協議は整うのか。区として売り上げ増になっっている施設である。収支

を合わせるため、事業展開できるような予算処置は考えられるのか。
観光政策部長 考えて行かなければならない。

問 富弘美術館に見る雇用形態については。市の施設での雇用の中からすべきでは。

観光政策部長 専門性や熟練が必要とされる部分もある。
問 市として人材教育も検討すべきではないか。税金は市民のために使うべきではないか。2007年問題もある。

地域経済循環型社会の構築をみどり市としてもすべきでは。

市長 地元の雇用は地元の人で雇うのが好ましいが、いろんな要素もあり、トータルで考える必要がある。

町は混入搬入でkg3円、桐生市は分別搬入のため5円となっている。
問 目に余る資源物の持ち去り行為はリサイクル運動に水をさすと見られるので高崎市のように条例化してほしい。
市長 県内では高崎市が4月から条例改正し資源物の持ち去りを禁止し条例化した。条文を良く読んで充分価値があると思うので時間を頂き検討したい。

オートキャンプ場沢入 (東町)





深澤 富四郎 議員

問 旧大間々町では、温泉が出て憩いの家に引いて利用している。老人の施設の為、一般の人は利用できない。
 問 町長は大人から子供まで利用できる施設を作ると予定地を定めた。先に町で購入した土地が高く買いきすぎたと、前橋裁判所、東京高裁に提訴され、判決は町長の裁量権の内であると問題ははなかつた。

こんな事何年も続けた為、購入が出来なくなりました。
 問 旧大間々町では赤道、水路、芝地の上に家が建っている場所もある。国土調査によつて、官と民の境界を明らかにして整理すべきと思うが。
 問 戦後32戸の農家が入植し開墾した畑だ。時代の推移により事業農家2、病院1、農業用資材の製造会社2、観光センター1の他の農家は兼業農家となつてしまった。瀬戸ヶ原の開発は良い話は何件も有つたが不調に終わった。みどり市にとって、これだけ広

い土地はない。今後の開発は。
 問 みどり市には忠霊塔が3カ所あり、これを1カ所に統合しては。旧東村では312名、大間々地区665名、笠懸地区304名です。大間々地区が戦死者の人員が多いので大間々に統合しては。
 (答弁については、本人の意向により、掲載してありません)



大間々町忠霊塔

一般質問は、発言者の責任の基に質問の要旨を掲載しています。

Q 忠霊塔を一ヶ所に集合しては



旧杲小体育館

Q 東町の使用していない建物は
 A 旧杲小体育館は解体



星野 勝由 議員

問 東町には現在使用していない市有の建物や土地があるが、これらの扱いについて。
 総務部長 旧杲小学校の体育館は解体し、土地は地主に返す。校舎は借主があり、平成21年まで契約が結んであるの
 で、校舎の使用に関しては安全上の問題で借主には充分配慮してもらう。プールは地域の防火用水も兼ねているので

残す。旧水資源公団草木ダム建設事務所跡は建物によつては、賃貸契約している部分もあるが、他の建物は、今後充分検討して使用していきたい。
 問 旧中央保育園跡地は。
 民生部長 旧中央保育園は建物も老朽化しているので、取り壊し、敷地は小、中学校の駐車場として利用したい。
 問 東町農産物直売所の地主との問題点解決に向けての話し合いの進捗状況については。
 経済部長 今まで6回の話し合いを行ってきた。建物を地主が全面使用するのでは組合

員の方も困ってしまう。組合員の方からも「直売所の移転も含めて考えて」という声も聞いている。それらを含めて検討していく。
 問 いじめ問題で市内の学校には、いじめ問題解決の為にスクールカウンセラーがいるが、人数と勤務体制は。
 教育長 県費で3名が派遣され、問題解決に努力して頂いている。週一日の派遣で各中学校に半日づつの勤務である。

まちの声



東町
磯田 俊江

みどり市が誕生して9カ月、新市創造期のさ中、対処すべき問題が山積していると思えますが、重点課題について善処して下さい。東町は過疎地です。小中学生も年々減少傾向に有り、若者のいない街になりかねません。せめてこの地に暮らす人々が、平穏な日々を送る事が出来るよう、鳥獣対策や森林保全、わたらせ渓谷鐵道存続の実現等、御配慮いただきたいと思います。多くの人々の知恵と協力でわた溪を守りましょう。



笠懸町
竹下 玉枝

先月社会保険庁より年金振り込み通知書が送られてきました。中を開けてビックリしたことは、私に一言も知らせずに勝手に介護保険料1万1000円を差し引いて年金を振り込んだ通知だったからです。年金は長い間かかって掛付てきた大切なものです。本人は年金を自由に出来ず、掛付てきた合計金額も知らされません。しかも4月、6月、8月、10月、12月、2月に差し引かれるのです。自分の年金を勝手にされていい気持ちがあるでしょうか。私自身は今後、何を節約して暮らそうかと考える毎日です。私と同じ思いをされていらっしやる方もおいでだと思いますよ。



大間々町
田口 学

4月よりみどり市となつて約10カ月、行政区の統合や格差など、市としての基盤はまだ構築中のように見受けられます。今、地方自治体の在り方が問われる時代、市政にとって何が重要課題なのか優先順位を決め一つ一つ解決していくて欲しいものです。財政、教育、医療、福祉と色々課題はあると思いますが、住民が受ける行政サービスの多くは地方自治体であり、住民のニーズの変化や時代の流れに対応した行政を実施されることを期待しつつ見守つていきたいと思ひます。多くの人々が住み良い街を望んでいるのですから。

編集後記

12月議会が終つてまもなく、私のところに次々と電話がありました。「自治会の体育振興会活動費を流用した議員は、まだ辞めないのか」「辞職勧告決議された議員は、どうなったのか」「辞職勧告決議案を否決されたのは、どういう理由」「サンレイク草木の不正運営はひどい、徹底的に究明してほしい」「富弘美術館の運営も、しっかりと見て下さい」「議員定数の削減はなぜ否決されたのか」「東町の方は、「合併して良いことは何もないと思つたが、サンレイク草木のように、不正運営が表に出てきたことは良かった」「現職の警察官が連続強盗事件で逮捕される時代だから、少しぐらいのことでは驚かないが、こんなに何人も議員が、辞職勧告される議会が他にありませんか」と何人もの方から電話を頂きました。合併したばかりのみどり市には、市民の立場から見た新しいまちづくりと民主

次回定例会(予定)

3月6日(火) 午前10:00~

皆さんの傍聴をお待ちしています。
問い合わせ ☎76-1970

編集委員

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 古美門君夫 |
| 副委員長 | 新井 巖雄 |
| 委員 | 常見 詔子 |
| | 金谷 正男 |
| | 椎名 祐司 |
| | 坂本 清 |
| | 田部井多市 |

(常見 詔子)